

## 同志社国際中学校・高等学校

中学入試

高校入試

住所 京都府京田辺市多々羅都谷60-1

電話 0774-65-8911

FAX 0774-65-8990

URL <http://www.intnl.doshisha.ac.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 1980年

2019年度帰国生在籍数 中学1年:67人 中学2年:64人 中学3年:83人 高校1年:129人 高校2年:192人 高校3年:179人

帰国生のための部署/担当 アドミッションセンター・国際教育センター/アドミッションセンター主任 春日清彦 先生 問い合わせ先 center@intrnl.doshisha.ac.jp

## 帰国生入試について

出願資格・条件	<p>帰国生徒の認定 つぎの①および②の条件を満たす者を帰国生徒と認定する。</p> <p>①つぎのa~cのいずれかに該当する者。 a. 日本国籍を有する者。 b. 特別永住者の資格を有する者。 c. 日本の法律に定める「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」に該当する者。〈注〉上記のa~cのいずれにも該当しない場合は、帰国生入試を受験することはできない。</p> <p>②つぎのa・bのいずれかに該当する者。 a. 海外在学期間が1年6ヶ月以上の者で、帰国後の期間が海外在学期間を越えない者。 b. 海外在学期間が5年6ヶ月以上の者。〈注1〉帰国後の期間とは、最終帰国の日から当該入学試験の日までとする。〈注2〉海外在学期間は、受験時期にかかわらず、2019年2月入学試験の日までの、3ヶ月以上連続した、保護者に帯同した全海外在学期間を加算する。〈注3〉A選考に出願する場合、正規の学校に3ヶ月以上連続して在籍し、1回以上の正式な成績表が発行された本人の留学期間は、海外在学期間に加算する。〈注4〉B選考に出願する場合、海外在学期間に本人の留学期間は含まない。</p>
---------	--

出願書類 選考方法により異なる。(本校ホームページ参照)

過去3カ年の応募状況 (中学入試)	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
2019年	98	85	56	48
2018年	107	93	44	39
2017年	108	98	57	46

## 帰国生の編入試験について

出願資格・条件 各学年によって異なる。(本校ホームページ参照)

募集 中1 夏 中2 12月・1月・2月 中3 12月・1月・2月 高1 夏 高2 12月・2月 高3 12月・2月

## クラス配置・一般生との位置づけ

日本で最も沢山の帰国生徒と国内一般生徒がともに学ぶ学校です。異なる学習歴を持っている生徒たちの一人一人を大切に教育をめぐらします。授業は基本的に習熟度別の少人数クラス編成。とりわけ英語は6段階に分かれ、自分の力にあったところから出発し伸ばすことができます。進学は、95%程度が進学する同志社大学、女子大学をはじめ、他の国公立大・私立大・海外の大学などほぼ100%を実現しています。高校生の遠距離通学者(2時間以上)のための学寮もあります。

## 外国語・日本語の指導、取り出しや補習など

- ・帰国生徒と国内一般生徒とでは、受けてきた教育内容が異なります。本校では、さまざまな環境で教育を受けてきた帰国生徒に対応するために、生徒一人ひとりの入学までの学習状況や入学後の習熟度合いに応じた習熟度別のクラス編成を行っています。これにより、日頃のホームルームは同じクラスに属しながら、それぞれの授業では習熟度に合わせたクラスで学ぶことができます。生徒たちはそれぞれの授業の中で各自の能力を十分に発揮して、知識を身につけていきます。
- ・国語、数学、理科、社会、聖書(宗教)では、大人数のクラス(Lクラス=large)と、少人数のクラス(Mクラス=mini)に分けて授業を行っています。Lクラス、Mクラスの授業内容は基本的に同じですが、未習熟分野があったり、日本語の力が十分でない生徒たちには、Mクラスでよりきめの細かい指導を行い、生徒の状況に応じて教材等柔軟に対応できるように配慮しています。
- ・本校で初めて英語を学ぶ生徒から、海外生活が長く、日常的に英語を使える生徒まで、本校の生徒の非常に幅広い英語力に対応する6段階に分けたクラス編成です。
- ・海外生活が長いため日本語の指導を必要とする生徒に対しては、特別なカリキュラムでサポートします。

## 入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと

現在、通っている学校。それは現地校、インター校、日本人学校などさまざまな状況があると思います。とにかく今の学校の勉強をしっかりすることが大切だと思います。本校はさまざまな学習歴に対応した多様な入試形態があります。外国語による作文試験では学校での学習が直接的に影響します。教科試験は日本人学校での学習が何より大切でしょう。焦らず、今いるところを大切に日々取り組んでほしいと思っています。

## 帰国生の卒業後の進路・進学状況について

同志社国際中学校を卒業した生徒たちは、同志社国際高等学校へ推薦制度を利用して、ほぼ100%の生徒が高等学校への進学を果たしています。高等学校を卒業した生徒たちには、同志社大学、同志社女子大学への推薦制度が用意されており、約90%の生徒がこれらの大学に進学しています。また本校は、首都圏・近畿圏を中心とする大学から指定校としての推薦を得ており、これを利用して進学する生徒たちがいます。また、国公立大学への進学を希望する生徒には、個々のケースに合わせた指導をしています。

## 留学制度や海外大学進学支援体制について

留学は短期であれば2週間、4週間、5ヶ月などさまざまなプログラムが用意され、毎年50~70名の生徒が留学します。また学年を落とさずに1年間留学ができる長期留学規定もあり、毎年海外にチャレンジしています。アメリカのトップ大学や他国の有名大学への進学実績が毎年あります。カウンセリングを行い、準備手順の説明、リクレーターによる説明会実施、出願サポートを行っています。また、外来講師によるセミナーや、iBT・TOEFL攻略ゼミの実施、SATやACT受験のスケジュール・サポートも行っていきます。

## 帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ

海外にすることが不安であったり、独りぼっちを感じることも、多くの仲間といることで解消されることもたくさんあると思います。学習は自分の力にあったところから出発できること。そして自分の力で伸ばしていくこと。成功体験の積み重ねが自分自身を成長させてくれると思います。